

## 今月のことば

太陽の  
光によって  
ほこりが見える  
仏さまの  
光によって  
煩惱が見える

(小池秀章)

龍谷大学非常勤講師

小池秀章  
こいけひであき

掃除をしていて、急に太陽の光が差し込んできた時、ほこりが舞っているのに気づくことがあります。光が差し込んできた時、ほこりが光の所に集まってきたわけではありません。光が差し込む前から、空気中には、ほこりが舞っていたのです。ほこりが舞っているのに、見えていなかったただけなのです。

それと同じように、私たちの心の中には、煩惱という汚い心が沢山舞っています。煩惱とは、貪りあきらの心・怒りの心・真実が見えない愚かな心などのことです。そのような心が沢山あるにも関わらず、普段は、全く見えていません。ところが、仏さまの光が差し込んだ時、そのような汚い心が見えるのです。つまり、煩惱という汚い心が見えたということは、仏さまの光に出遇ったということなのです。

このように言うと、「仏さまの光を見たことがない」という人がいますが、仏さまの光は見るのではなく聞くのです。仏さまの光は、具体的には教えの言葉として届いています。その教えによって、自らの煩惱に気づかされるのです。

煩惱に気づかされる前は、煩惱に振り回され、他人を傷つけ自らも傷ついているにも関わらず、それを普通だと思っただけです。しかし、仏さまの光に出遇った時、つまり、煩惱が見えた時、煩惱が無くなるわけではありませんが、煩惱に振り回されている自らのあり方が、申し訳ないあり方だと、気づかされます。そして、そこに、今までとは違った生き方が生まれ始めるのです。

合掌